

SNSのトラブルから子どもたちを守るために

◆はじめに

近年のインターネットやスマートフォンの普及により、大人に限らず、子ども達も、ネット社会の中で、日常生活を送る環境下におかれています。

インターネットの中でも、特にスマートフォン等をつかった情報発信のツールである、SNSは、誰とでも、気軽に簡単につながり、情報を共有することができます。しかしながら、その便利さの裏には、多くの危険性が潜んでいることも忘れてはなりません。

現代のネット社会の中で、子ども達が、正しい情報リテラシーや情報モラルを身に着けるようにしていくことは、我々大人の責務でもあります。

そこで、以下のように、SNSの実態や危険性、保護者や学校ですべきこと、できることについて、整理をいたしました。学校、家庭、地域の中で、健やかに育つ子ども達のために、そして、SNSのトラブルから子ども達を守るために、ぜひとも、知っていただきたいことやご協力いただきたい点についてお伝えしますので、何卒、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◆最近、学校内外で起きている事例

小学生の間でも、SNS（TikTok、Instagram、LINE、YouTube、など）の利用が急速に広がっています。しかし、次のようなトラブルが実際に発生しています。

- ・ 他の子の名前を出し、悪口やうそを投稿
- ・ 「死ぬ」「キモイ」などの暴力的、差別的な言葉の使用
- ・ 「いいね」や返信が来ないことでのストレスやトラブル
- ・ 相手の写真や個人情報（名前、住所、学校名）を勝手に拡散
- ・ SNS上で知り合った人とのやり取り
- ・ グループでの排除や誹謗中傷
- ・ 卑猥、性的な言葉を含む不適切な投稿
- ・ 自撮り写真や動画の不適切な投稿

◆SNSの怖さを知っていますか？

- ・ 「軽い気持ちでやったこと」「何気ない一言」が、人を深く傷つけることがあります。
- ・ たとえ子どもであっても、賠償責任の対象になることがあります。
- ・ 一度投稿した内容は、削除しても、完全には消えません（スクリーンショット・拡散）。
- ・ 悩みや不安、不満の表現の仕方は、SNSが適切な手段でしょうか。インターネット上に一度公開された情報（文章、画像、動画など）は、時間がたっても消去が難しく、半永久的に残ります。

◆保護者の皆様にできること（3つの基本）

- ①使用ルールを決める。
 - ・ 時間、場所、内容を家庭内で明確にする。
 - ・ 就寝時は、リビングで充電する。
- ②内容を一緒に確認する。
 - ・ とくどき、タブレットやスマートフォンの使用状況を一緒に確認する。
 - ・ 何のアプリを使っている？など、話しやすい雰囲気をつくる。
- ③問題が起きたら、すぐに相談する。
 - ・ 犯罪行為や金銭トラブルは警察に、児童間のトラブルは学校に相談しましょう。



（大阪府警察HPより）

◆学校でできること、できないこと

できること	できないこと
児童へのネットリテラシー教育・指導	SNS投稿の強制削除 (学校が削除することはできません)
関係者への聞き取り	損害賠償に関する交渉 (民事対応は保護者の判断となります)
心理的支援・登校支援などの配慮	
保護者への情報共有と協力依頼	

◆SNSの年齢制限

- ・ X (旧Twitter)、Instagram、Facebook、TikTok ⇒ 13歳以上
- ・ YouTube ⇒ 13歳以上（保護者の同意があれば、13歳未満でも利用可能）
- ・ LINE ⇒ 年齢制限はありませんが、未成年は保護者の同意が必要となる場合があります。

放課後のSNS利用については、保護者の監督・管理のもとでの使用となるため、トラブルになった場合は保護者に責任が生じることが多くあります。

スマートフォンやタブレットなどのICT機器は、「子どもの物ではない」という認識で、今一度、ご家庭でお話しをする機会としていただければ幸いです。

◆おわりに

インターネットは便利な反面、使い方を誤ると、人を深く傷つけ将来にも大きく響を及ぼすことがあります。「まだ小学生だから大丈夫」ではなく、「小学生だからこそ、使い方を一緒に学ぶ」という姿勢が大切です。学校と家庭が連携し、お子さんの安全と成長を見守りましょう。

